



「ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」 北欧ハイ・イールド社債の投資環境について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当資料にて、北欧ハイ・イールド社債の足元の投資環境について、ご説明いたします。

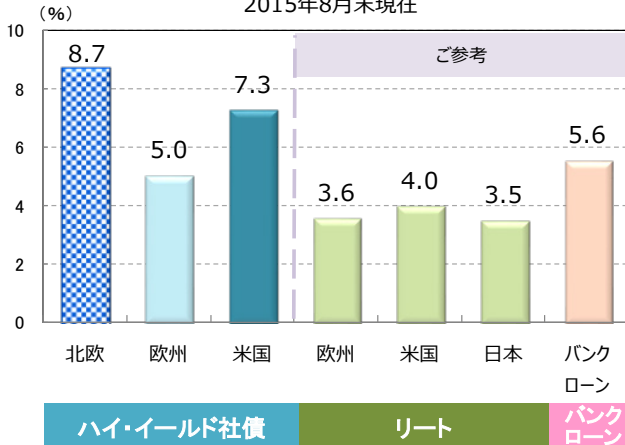
北欧ハイ・イールド社債の投資環境

1. 北欧ハイ・イールド社債市場について

2015年8月末現在、北欧ハイ・イールド社債は、他の地域と比べて利回りが高く、デュレーション（金利感応度）が短くなっています。また、北欧ハイ・イールド社債は変動金利で発行される割合が高くなっています。そのため、北欧ハイ・イールド社債は金利上昇局面において債券価格の変動が相対的に小さいという優位性があります。

《各資産利回りの比較》

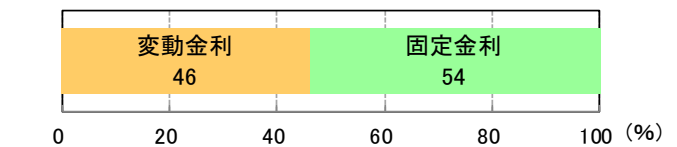
2015年8月末現在



《北欧ハイ・イールド社債市場の変動・固定金利の構成比率》

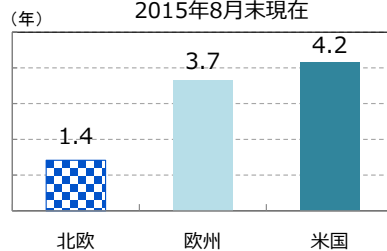
2015年8月末現在

* 残存額面ベース



《各地域のハイ・イールド社債のデュレーション》

2015年8月末現在



デュレーションとは、金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標です。

使用した市場指数等は、4ページの「当資料で使用した市場指数等について」をご参照ください。

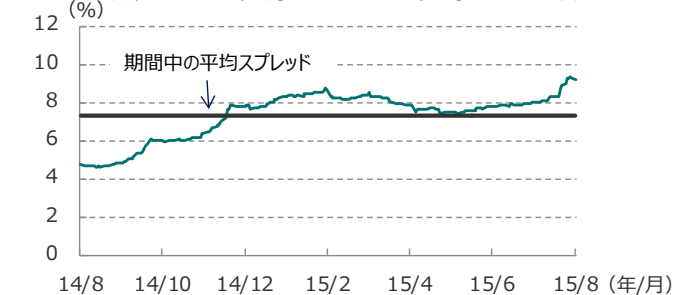
(出所) プルームバーグ、FactSet、DNBアセット・マネジメント・エーエスのデータを基に野村アセットマネジメント作成

2. ノルウェーハイ・イールド社債の利回りの推移

北欧ハイ・イールド社債市場での構成比率が大きいノルウェーハイ・イールド社債の利回りと短期金利のスプレッド（利回り格差）で見ると、本年2月から、原油価格の底入れ観測や、ECB（欧州中央銀行）の量的金融緩和を受けて、安定しつつありました。しかし足元では、原油価格が軟調に推移したことによりエネルギーセクターへの信用力が低下したため、利回りは上昇（債券価格は下落）し、スプレッドは拡大しました。

《ノルウェーハイ・イールド社債のスプレッドの推移》

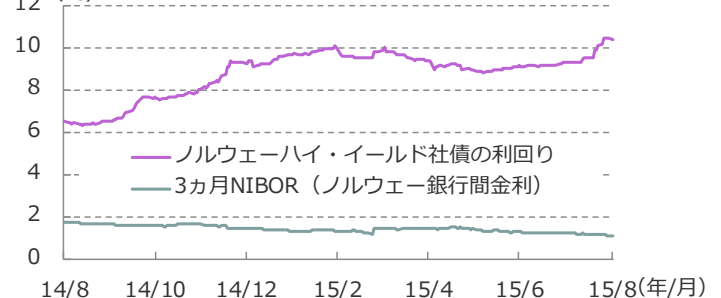
期間：2014年8月29日～2015年8月31日、日次



スプレッド：〔ノルウェーハイ・イールド社債の利回り〕－〔3ヵ月NIBOR（ノルウェー銀行間金利）〕

《（ご参考）ノルウェーハイ・イールド社債の利回りと短期金利の推移》

期間：2014年8月29日～2015年8月31日、日次



使用した市場指数等は、4ページの「当資料で使用した市場指数等について」をご参照ください。

(出所) DNBアセット・マネジメント・エーエスのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として、DNBアセット・マネジメント・エーエスの提供情報に基づき、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

3. 原油価格とノルウェー・クローネの推移

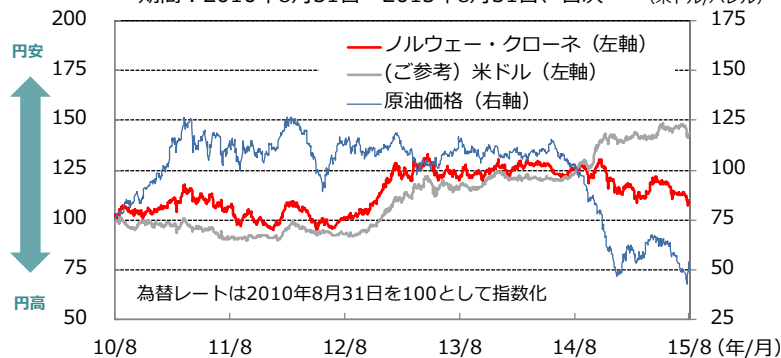
原油価格は需要の減少（世界の国々の景気低迷・悪化など）、供給の増加（シェール・オイルの生産増など）によって需給バランスは崩れたことで、下落しています。一方で、原油価格の低下は米国・中国・インド等の国で原油の需要拡大を促すことが予想されます。また、原油産出国の多くは現在の原油価格では原油生産の採算や財政均衡を確保することが困難であると見られているため、今後、原油産出国へ減産要請の圧力が強まる可能性があります。結果として、原油市場の需給バランスが改善することで、原油価格の上昇が期待されます（DNBアセット・マネジメント・エーエスは、2016年末の原油価格を65米ドル/バレル（北海ブレンド原油先物）と予想しています。）※

ノルウェーの主な輸出品は原油であることから、ノルウェー・クローネの値動きは原油価格との連動性が高くなる傾向があります。したがって、足元では原油価格下落の影響を受けてノルウェー・クローネは軟調に推移しています。原油安による景況感の悪化から、ノルウェー中央銀行が追加利下げを実施した場合、ノルウェー・クローネの売り圧力が高まることも予想されます。しかしながら、ノルウェーの経常黒字が大きく財政状況も相対的に健全な水準にあることから、原油価格が落ち着きを取り戻すことで、軟調に推移していたノルウェー・クローネは見直されることが期待されます。

※原油価格についての見解は、ファンドが投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社であるDNBアセット・マネジメント・エーエスによる見解です。将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「原油価格とノルウェー・クローネの為替レート（対円）の推移」

期間：2010年8月31日～2015年8月31日、日次（米ドル/バレル）

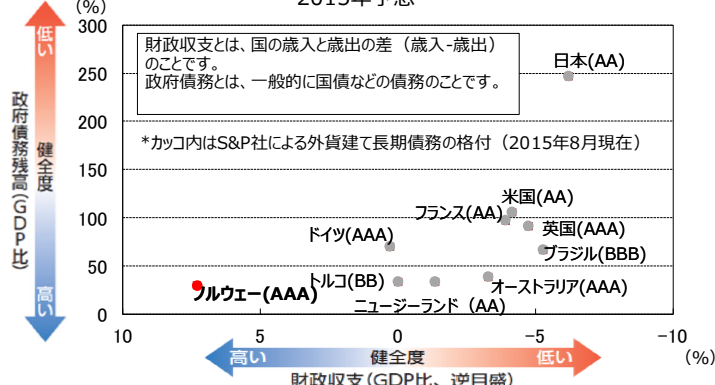


原油価格：北海ブレンド原油先物
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「（ご参考）財政収支、政府債務残高（GDP比）」

2015年予想



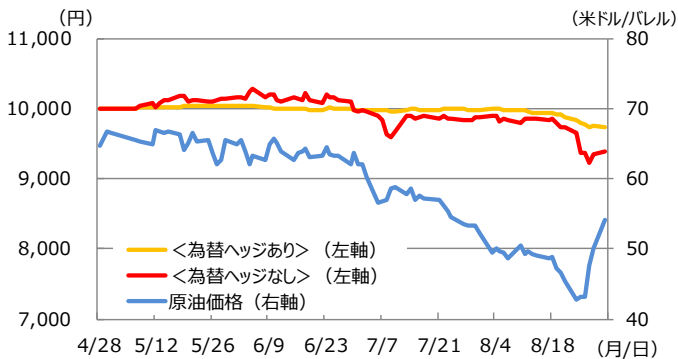
（出所）ブルームバーグのデータ、IMF「World Economic Outlook Database, April 2015」の情報を基に野村アセットマネジメント作成

（ご参考）原油価格と「ノルディック社債ファンド」の基準価額の推移

2015年4月28日（「ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」の設定日）から2015年8月31日の期間において、ファンドの基準価額（分配金再投資）の騰落率は＜為替ヘッジあり＞-2.6%、＜為替ヘッジなし＞-6.1%となり、原油価格の-16.2%の下落に対し、下落幅は小さくなりました。その要因としては、①北欧ハイ・イールド社債の特性でもある高い利回りが価格変動の下支えをしたこと、②ファンドはエネルギーセクターへの投資配分比率を市場全体より低く抑えて投資を行なったこと、③安定的なキャッシュフローが期待できる公益、通信セクターが底堅かったこと等が挙げられます。

「原油価格とファンドの基準価額（分配金再投資）の推移」

期間：2015年4月28日（設定日）～2015年8月31日、日次



原油価格：北海ブレンド原油先物
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

基準価額変動の要因分解（概算）

期間：2015年4月28日（設定日）～2015年8月31日（単位：円）

	基準価額騰落額 (分配金込み)	ヘッジコスト・ 為替変動	債券要因		信託報酬
			インカムゲイン	キャピタルゲイン	
＜為替ヘッジあり＞	-258	-25	230	-405	-58
＜為替ヘッジなし＞	-609	-346	228	-433	-57

（ご参考）上記期間中の原油価格の騰落率 -16.2%

要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、円貨にて表示しております。

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《ファンドの特色》

- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 北欧^{※1}市場で発行される、もしくは流通している、または北欧において主要な事業活動に従事している企業が発行する社債(投資適格債券およびハイ・イールド債券)を実質的な主要投資対象^{※2}とします。
 なお、北欧市場の優先証券、国債、政府保証債、地方債、短期金融商品等にも実質的に投資します。
^{※1} 北欧とはノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、アイスランドの5か国を指します。
^{※2} 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネーインベストメント マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資信託において、為替ヘッジを行なう「為替ヘッジあり」と為替ヘッジを行わない「為替ヘッジなし」から構成されています。
- 各々以下の円建ての外国投資信託「SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド」および国内投資信託「野村マネーインベストメント マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド	投資対象
為替ヘッジあり	(外国投資信託) SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド A JPY クラス (国内投資信託) 野村マネーインベストメント マザーファンド
為替ヘッジなし	(外国投資信託) SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド B JPY クラス (国内投資信託) 野村マネーインベストメント マザーファンド

- 通常の状況においては、「SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■各ファンドが投資対象とする外国投資信託の概要

SuMi TRUST インベストメント・ファンズーノルディック・ハイ・インカム・ボンド・ファンド(A JPY クラス、B JPY クラス)
 (アイルランド籍円建外国投資信託)

・ファンドは北欧市場で発行される、もしくは流通している、または北欧において主要な事業活動に従事している企業が発行する社債を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いません。
 なお、ファンドは北欧市場の優先証券、国債、政府保証債、地方債、短期金融商品等にも投資します。

・投資にあたっては、北欧を含む欧州市場全体のマクロ経済環境、業種固有の要因、ファンダメンタルズ分析、格付、潜在的な損失リスク等を考慮して発行体の選定を行いません。更に個別債券の残存期間、利回り、債券特性、流動性等を勘案し投資銘柄の選定を行いません。

・A JPY クラスは、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
 B JPY クラスは、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」間でスイッチングができます。
- 分配の方針
 原則、毎月7日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《投資リスク》

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成37年7月7日まで(平成27年4月28日設定)
- 決算日および収益分配 年12回の毎決算時(原則、毎月7日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ロンドンの銀行の休業日 ・ダブリンの銀行の休業日
・オスロの銀行の休業日
・オスロの証券取引所の休業日(半休日を含む)
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通配分金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2015年9月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.026%(税抜年0.95%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率* 年1.676%程度(税込) ※ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

【当資料で使用した市場指数等について】

[ハイ・イールド社債]北欧:Stamdataのデータを基にDNBアセット・マネジメント・エーエスが算出したデータ、欧州:BofA・メリルリンチ・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、米国:BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス、ノルウェー:DNBハイ・イールド・ノルウェー・インデックス [リート]欧州:FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe REITs Index、米国・日本:S&P各国別リート指数 [バンクローン]:S&P/LSTALバレッジド・ローン・インデックス
●BofA・メリルリンチ・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックスおよびBofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、バンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。●FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe REITs Indexは、FTSEにより計算され、指数に関する全ての権利はFTSE、EPRAおよびNAREITに帰属します。●S&P各国別リート指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標です。

◆お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



商号:三井住友信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会

◆設定・運用は



商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>



当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として、DNBアセット・マネジメント・エーエスの提供情報に基づき、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。